

第18回

J & T環境株式会社東京事業本部による  
微量PCB廃棄物処理事業に係る地域環境委員会

令和元年9月3日（火）

J & T環境株式会社

株式会社JERA

1

微量PCB汚染絶縁油の処理状況

2

環境モニタリング状況

3

安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4

その他

1

微量PCB汚染絶縁油の処理状況

2

環境モニタリング状況

3

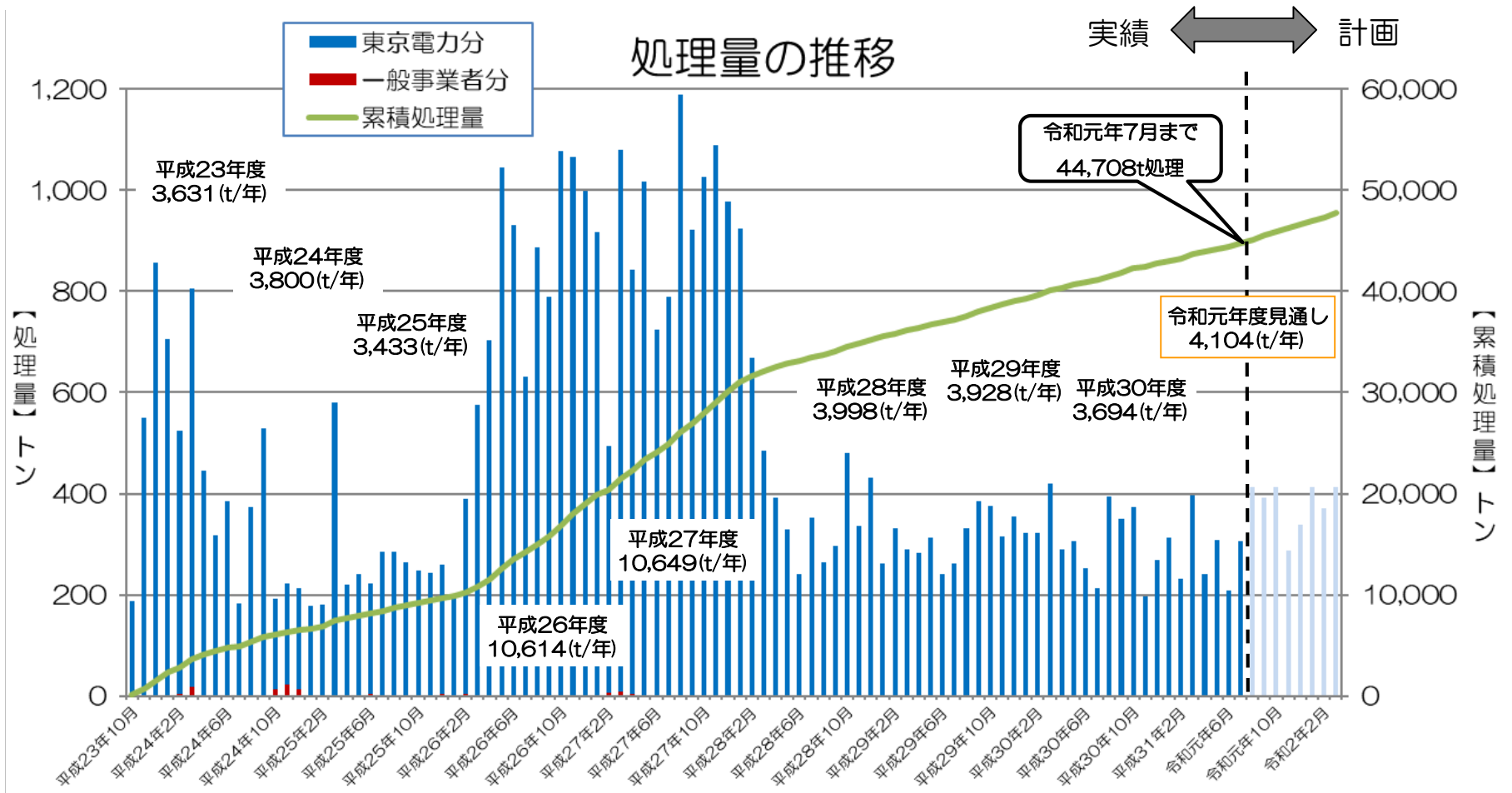
安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4

その他

# 1. (1) 微量PCB汚染絶縁油の処理実績と計画

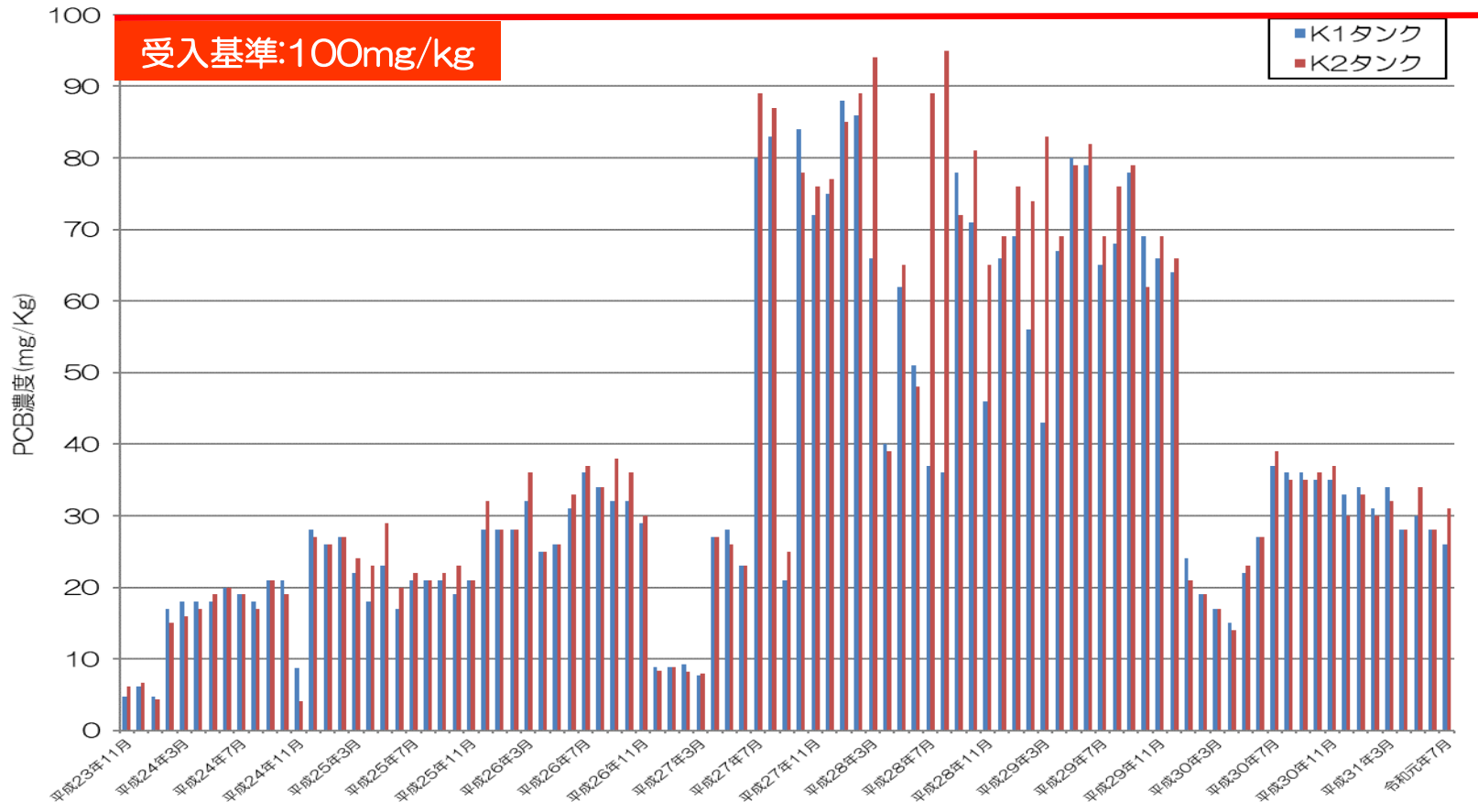
◆ 微量PCB汚染絶縁油は、確実な処理を継続実施中。



※令和元年7月末日現在

# 1. (2) 微量PCB汚染絶縁油の濃度測定結果

- ◆ 微量PCB汚染絶縁油は敷地内の2基（K1、K2）のタンクに受入。
- ◆ 定期的（1回/月）に各タンクのPCB濃度を測定、受入基準以下を確認。



1

微量PCB汚染絶縁油の処理状況

2

環境モニタリング状況

3

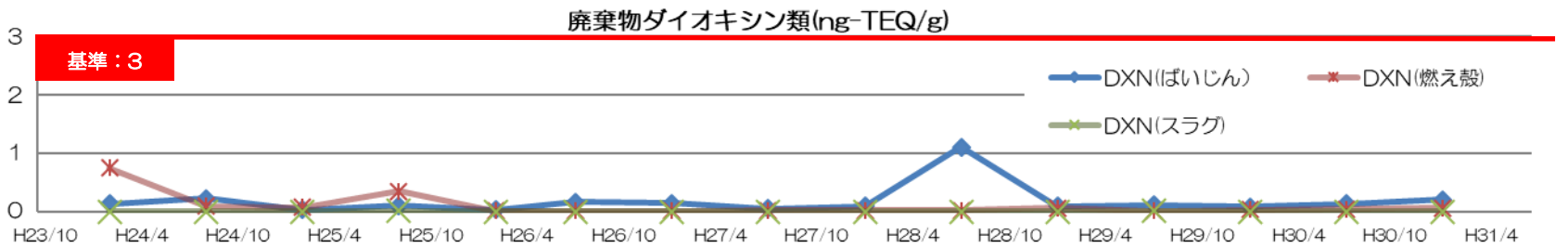
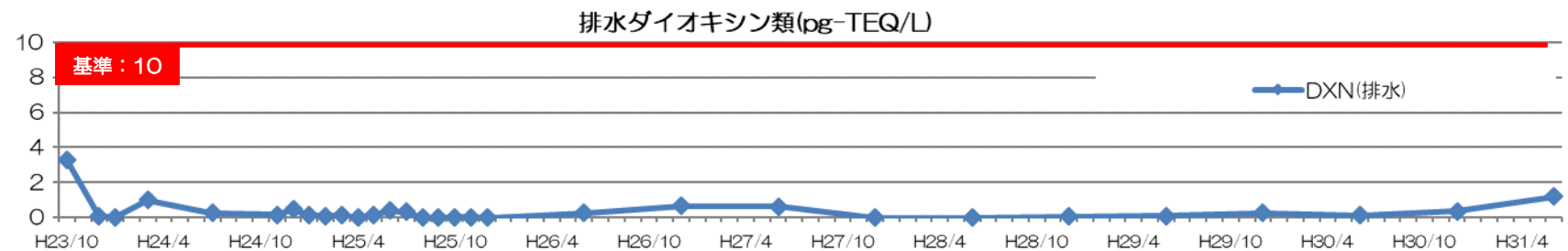
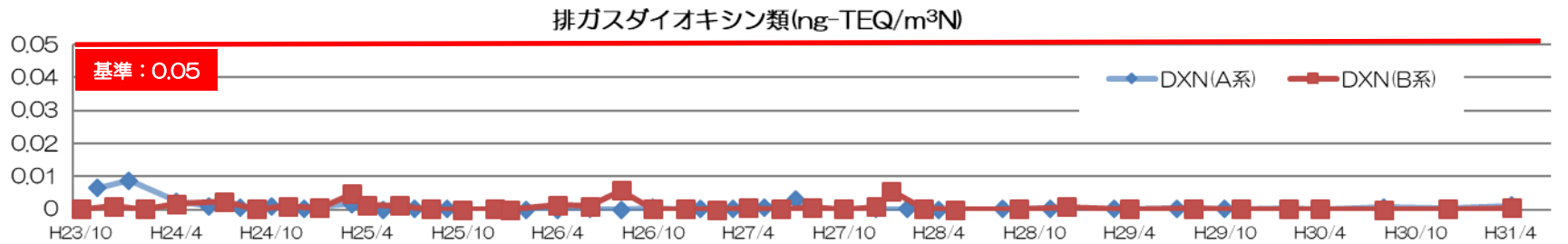
安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4

その他

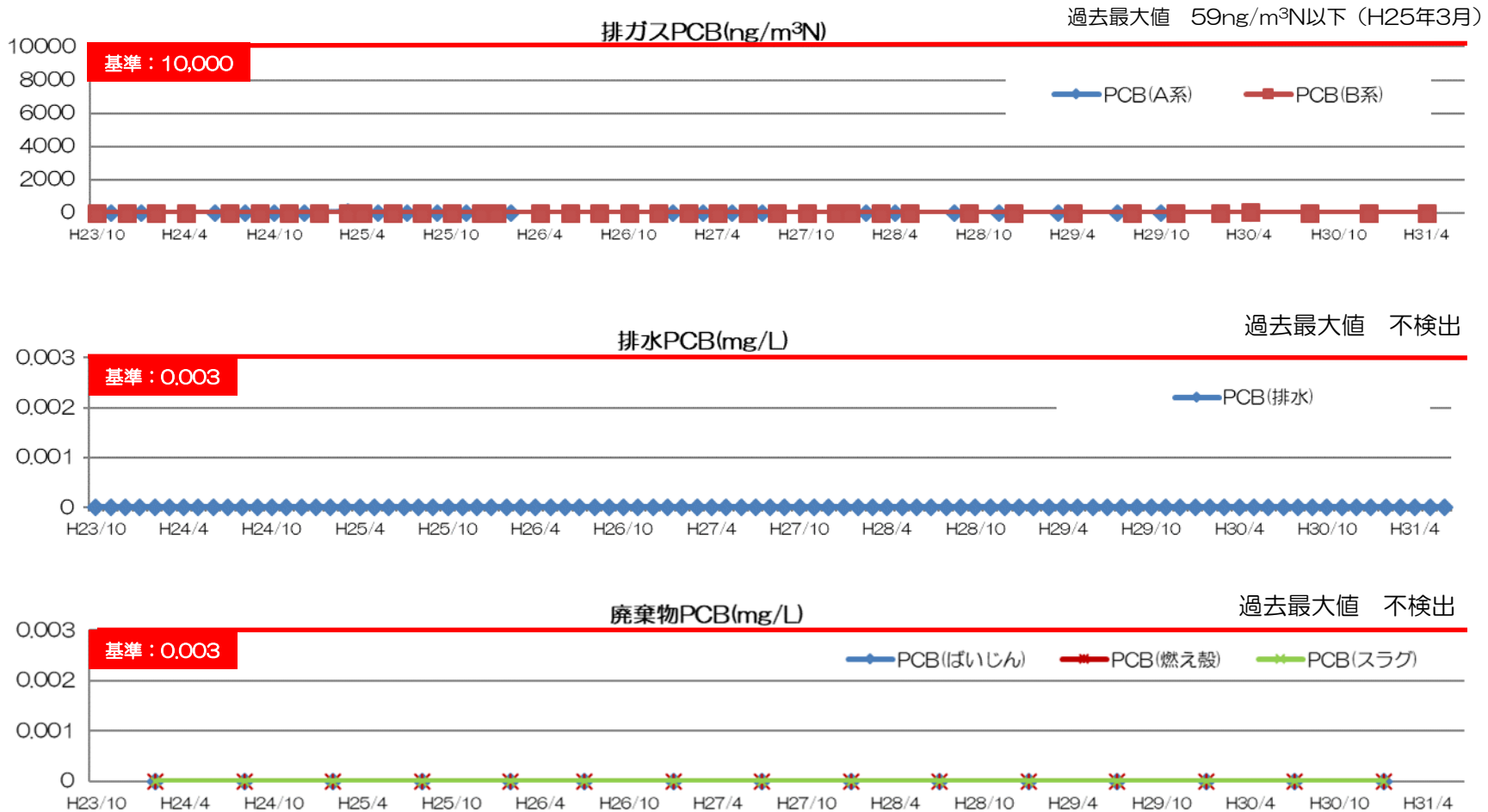
## 2. (1) 発生源モニタリング (ダイオキシン)

- ◆ 環境保全協定に基づき、排ガス、排水、廃棄物のダイオキシン類測定を実施。
- ◆ 何れの測定項目も協定の基準値を十分に下回っており、微量PCB汚染絶縁油の処理が的確に行われていることを確認。



## 2. (2) 発生源モニタリング (PCB)

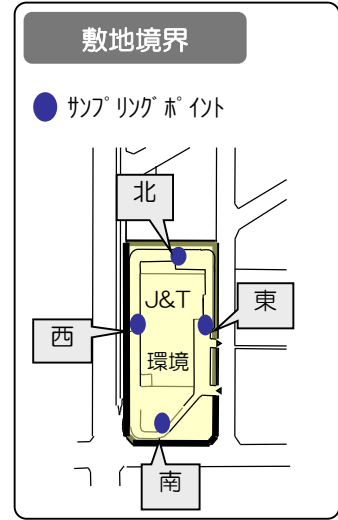
- ◆ 環境保全協定に基づき、排ガス、排水、廃棄物のPCB測定を実施。
- ◆ 何れの測定項目も協定の基準値を十分に下回っており、微量PCB汚染絶縁油の処理が的確に行われていることを確認。





## 2. (3) 敷地境界大気

- ◆ 平成30年9月測定の際側測定点にてダイオキシン類が高い濃度を測定。
- ◆ それ以降、設備面と運用面を点検し対策を実施してきており、本年7月の測定でそれら対策の効果が確認できた。
- ◆ 今後も濃度の一層の低減と安定化させるのに必要な対策をとるとともに、従来より管理体制を強化し、監視を継続する。（対応状況を別紙で説明）



		測定年月									年平均	基準値	測定頻度
		H30/9	H30/10/17	H30/10/18	H30/12	H31/1	H31/2	H31/3	R01/5	R01/7			
PCB (ng/m <sup>3</sup> )	東	0.11	—	—	—	0.13	—	—	0.26	—	0.17	500	定例 3回/年
	西	0.21	—	—	—	0.16	—	—	0.13	—	0.17		
	南	0.24	—	—	—	0.14	—	—	0.14	—	0.17		
	北	0.33	—	—	—	0.15	—	—	0.16	—	0.21		
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	東	0.80	0.02	0.02	0.58	0.60	0.065	0.16	0.80	0.089	0.349	年平均0.6	定例 3回/年
	西	0.010	0.26	0.27	0.22	1.1	0.58	0.062	0.062	0.087	0.295		
	南	0.046	0.031	0.030	0.054	0.80	0.089	0.073	0.022	0.079	0.136		
	北	0.11	0.019	0.023	0.065	0.39	0.053	0.32	0.18	0.16	0.147		

1

微量PCB汚染絶縁油の処理状況

2

環境モニタリング状況

3

安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4

その他

- ◆ 社員（経営層、協力会社含む）の関係法令に関する理解度の向上、安全意識の高揚等を目的に定期的な教育を実施。

前回（第17回）の地域環境委員会以降の研修実績

実施日・頻度	内 容	対 象
毎月1回	関係法令等の勉強会を実施 (廃棄物処理法、大気汚染防止法、労働安全衛生法等)	経営層
新規入所時 (4月3・4日 7名、5月8・9日 6名)	入社時、新規入所時の安全・ダイオキシン類・PCB教育	新入社員
平成31年3/26~28 (8名)	ダイオキシン類・PCB教育	技術系社員
令和元年5/13、7/24 (各14名、18名)	安全教育（他事業所の災害事例紹介）	技術、事務系職員
令和元年6/27 (18名)	安全教育（熱中症の予防・発症時対応方法）	技術、事務系職員 協力会社
令和元年7/30~8/8 (6回 各約10名)	安全教育（他事業所の安全向上の取り組み紹介）	技術系社員

令和元年8月8日現在

### 3. (2) 訓練（緊急時対応訓練）

- ◆ 当所では毎年、微量PCB汚染絶縁油の漏洩等、緊急事態を想定した対応訓練を2回実施しているが、平成30年度2回目の訓練は、会社統合に伴う組織変更後に実施することとした。
- ◆ 新組織による1回目の訓練を9月に実施予定。

### 3. (3) 災害等発生状況

- ◆ 微量PCB汚染絶縁油処理に関する労働災害の発生はなし。
- ◆ その他の労働災害も平成30年2月以降、発生はなし。

年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
労働災害 発生件数	5	4	0	4	0	3	3	0	0

※令和元年7月末日現在

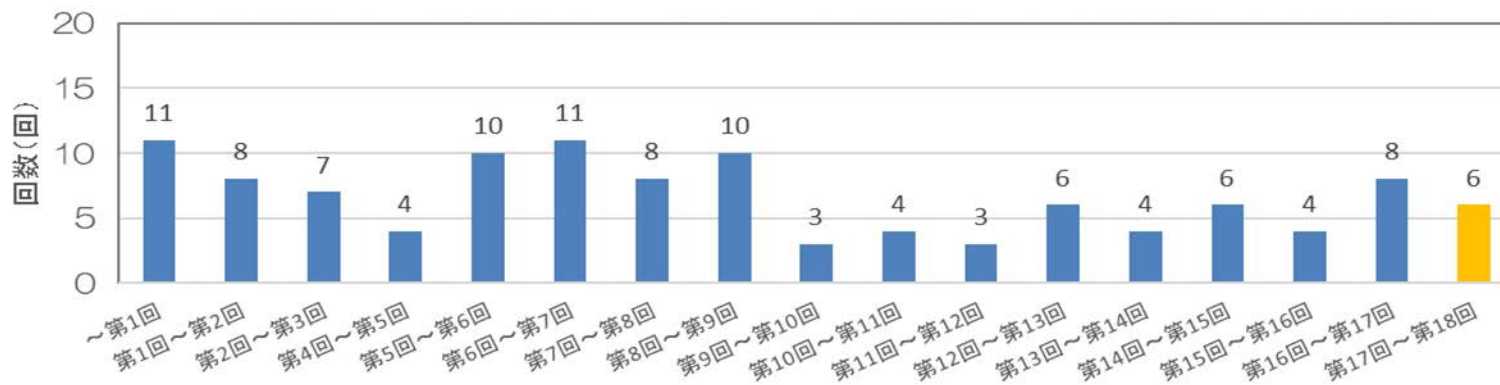
- ◆ 前回（第17回）の地域環境委員会以降、微量PCB汚染絶縁油焼却に伴う設備不具合はなし。
- ◆ 微量PCB設備について、日常点検並びに定期点検（1回/年）を実施。

産業廃棄物焼却炉の微量PCB汚染絶縁油焼却に伴う設備不具合発生件数

期間	～第6回	第6回～第7回	第7回～第8回	第8回～第9回	第9回～第10回	第10回～第11回	第11回～第12回	第12回～第13回	第13回～第14回	第14回～第15回	第15回～第16回	第16回～第17回	第17回～第18回
発生件数	0	1※1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 平成25年12月19日 油サービスタンクからのしみ発生。（第7回委員会にて報告）

【参考】産業廃棄物焼却炉のトラブルによる設備停止回数



注) 第4回は臨時開催のため除外

1

微量PCB汚染絶縁油の処理状況

2

環境モニタリング状況

3

安全対策（教育・訓練、災害事例、設備不具合）

4

その他

- ◆ 前回、PCB処理運用変更の試験結果と、その結果を踏まえ本年5月頃を目途に申請書提出を希望しているのご報告しましたが、関係各所にご相談した結果、会社統合の直後であること等を考慮し、申請書の提出を延期することとしました。
- ◆ 新たな申請時期については、目途が立った時点でご報告します。



- ◆ 前回予定としてご報告した通り、会社統合に伴い本委員会を規定した協定書※が4月1日付けで改定されました。

※「東京臨海リサイクルパワー株式会社による微量ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る安全性の確保と環境保全に関する協定書」

- ◆ 内容の変更はなく、署名者が以下のように変更になりました。

- 甲：東京都、乙：江東区 → 変更なし
- 丙：東京電力フュエル&パワー(株) → JFEエンジニアリング(株)
- 丁：東京臨海リサイクルパワー(株) → (株)JERA
- 戊： — → J & T環境(株)

以 上